

「大阪市ワーク・ライフ・バランス推進月間」の取組について

今回新たに、8月を「大阪市ワーク・ライフ・バランス推進月間」として設定し、市民、企業の方々に広くワーク・ライフ・バランスの意義、重要性を理解し、取組を進めていただけるよう、官民が一体となって啓発を行いワーク・ライフ・バランス推進の気運を盛り上げるべく取り組んだ。

1 実施主体

◆主催：大阪市

◆共催：(大阪女性きらめき応援会議構成団体、五十音順)

一般財団法人大阪市男女共同参画のまち創生協会、大阪市女性起業家情報交流協会、大阪市地域女性団体協議会、大阪市PTA協議会、大阪商工会議所、大阪労働局、公益財団法人21世紀職業財団関西事務所、公益社団法人関西経済連合会、公立大学法人大阪市立大学、特定非営利活動法人大阪NPOセンター、日本労働組合総連合会大阪府連合会

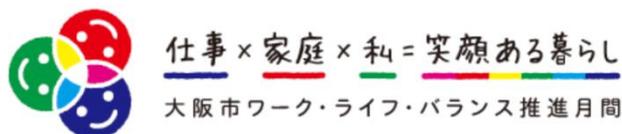
2 実施期間：平成28年8月1日(月)～31日(水)の1か月間

3 趣旨・目的

だれもが、「やりがいを感じながら働く時間」と「家族とともに過ごす時間」と「自分自身の趣味や地域活動を楽しむ時間」を調和させることで「笑顔ある暮らし」が実現できるよう、広く市民・企業の方々に、ワーク・ライフ・バランスの意義・重要性について理解を深め、取組が広まることをめざした。

4 ログマーク

今回、次のログマークを新たに作成し啓発に活用した。



5 実施内容

【大阪市が実施したもの】

- ◆ 市長定例記者会見での発表(7月21日)
- ◆ 市民等への広報・啓発～チラシ作成・配布、大阪市・区・局等のHP、広報紙・情報誌への啓発記事、ログマークの掲載
 - ・ 啓発チラシ作成、配布(区役所・図書館等公共施設、地下鉄駅構内等)【2万枚】
 - ・ 区広報紙(全市版ページ・おおさか掲示板)への啓発記事掲載

- ・区HPでのロゴマーク（4区）や区広報紙への啓発記事の掲載（4区）、ポスター掲示（1区）
- ・大阪市会HPへのロゴマーク掲載
- ・大阪市HPトップ画面でのサイネージ掲載と詳細ページのリンク
- ・本庁舎TVモニターへ啓発記事掲載
- ・男女共同参画情報誌「クレオ」夏号への啓発記事掲載【約2万部】
- ・「生涯学習情報誌 いちよう並木」8月号への啓発記事掲載【約2万5千部】
- ・「子どものためのイベント+施設ガイド タッチ」夏号へロゴマーク掲載【約20万部】
- ・「Bplatz press」8月号（経済戦略局）へ啓発記事掲載【約6万部】
- ◆ 区民まつり（男女共同参画普及啓発ブース）でのワーク・ライフ・バランスの周知・啓発
※アンケート結果： WLBが理解できたと回答 82.2%（回答者数 3,948人）
- ◆ WLBに関するセミナーの開催
 - ・「経営者・管理職おすすめ！イクボス養成セミナー」（市民局）
 - ・「女性のためのワーク・ライフ・バランスセミナー」（西淀川区）
- ◆ 期間中に市民が家族で有意義な余暇を過ごせるようなイベント等の紹介や各種事業の周知
チラシ・ポスターやHP等へのロゴマーク掲載
 - ・クレオ大阪各館での親子等を対象としたセミナー・イベント等（市民局）
 - ・「中之島文楽」、特別展「真田丸展プレ講座」（経済戦略局）
 - ・住まい情報センターイベント等チラシ（都市整備局）
 - ・「幸村が駆け抜けた大坂 スタンプラリー」（交通局）
 - ・「Coolに体験！作って遊ぼう夏休み」、「ランチタイムコンサート@うめだ」（教育委員会）
 - ・住之江区保健福祉センター各種健診会場にポスター掲示
 - ・子ども市会案内パンフレットにロゴマーク掲載（市会事務局）
- ◆ 女性活躍リーディングカンパニー認証企業への周知・協力依頼
- ◆ 職員への啓発
 - ・大阪市ワーク・ライフ・バランス推進期間の取組を実施（定時退庁、19時消灯、夏季休暇・年次有給休暇の取得推進等）（人事室）
 - ・「TENNOJI ワーク・ライフ・バランス通信」Vol.2、周知ポスターの掲出（天王寺区）
 - ・周知メールの送信（中央卸売市場）
 - ・業務メールの署名にロゴマークを使用（消防局）
- ◆ 大阪市ワーク・ライフ・バランス推進月間の趣旨に賛同した企業や市民にロゴマークを自由に使用していただけるよう、HPで使用方法について周知
※結果として、使用の申し出はなかった

【応援会議構成団体が実施したもの】

- ◆ 広報誌（紙）、HP、イベント等でロゴマークを活用した啓発を実施
 - ・関西経済連合会： 「労働情報月報」8月号【1,500部】
 - ・大阪商工会議所： 「大商ニュース」7/25号、8/10号【3万6千部】
 - ・大阪市PTA協議会： 「市Pだより」7月号【22万部】、7月市PTA理事会において資料配布のうえ趣旨説明

- ・大阪市男女共同参画のまち創生協会： 大阪市WLB推進月間ロゴマークの作成
WLB啓発ポスターの作成及び掲示（クレオ5館、市役所）、市女性会と連携して啓発チラシ作成・配布
- ・大阪市地域女性団体協議会： WLB啓発ちらしを区の行事等で配布
- ◆ 関連イベント等の開催、並びに同事業の広報におけるロゴマークの掲載・活用
- ・大阪労働局： 「働き方改革セミナー」チラシ、ポスター
- ・大阪商工会議所： 大阪企業家ミュージアム水曜夜間開館及び講演会 チラシ
- ・大阪市女性起業家情報交流協会： 「We's夏の陣 働くオンナに真夏の熱い夜 2016
～ヘルシーな働き方・生き方で女性経営者の“寿命”を延ばす」チラシ、HP等
- ・大阪市立大学： 卒業生によるワーク・ライフ・バランスセミナー
「先輩に学ぶ！リケジョの進路と卒業後のキャリアの拓き方」 チラシ、ポスター、HP
- ・大阪市男女共同参画のまち創生協会： 各種事業周知用チラシにロゴマーク掲載、業務メール署名にWLB推進月間について記載

6 今年度取組の総括

<評価できる点>

推進月間の設置については、3月25日開催の第1回大阪女性きらめき応援会議で決定してからの取組であり、準備期間が非常に限られるなかで

- ・ 経済団体に加え、市女性会、市PTA等地域団体もまきこんで、幅広く共同で啓発を行うことができたこと
- ・ ロゴマークを作成し、わかりやすく広報・周知できたこと

<問題点・課題>

- ・ 準備期間が短かったため、各団体での取組に限られたこと
 - ⇒ 各団体に、次年度の推進月間の取組について、早い段階から検討・準備を依頼
- ・ 市内部での周知期間も限られ、各区・各局の協力が広がらなかったこと、
ロゴマーク決定が5月でイベント等広報チラシへ掲載が間に合わないケースがあったこと
 - ⇒ 各区・各局に、ロゴマークの活用等について、早い段階から協力を要請
- ・ 民間からのロゴマークの使用の申し出がなかったこと
 - ⇒ 広報・周知を充実するとともに、企業等へ個別にロゴマークの使用を働きかけていく
- ・ 各企業におけるWLBの具体的な取組みを促すまでに至らなかったこと
 - ⇒ 次年度は企業におけるノー残業デーの設定や夏季休暇・年次有給休暇の取得推進等、具体的な取組みが進むよう経済団体等を通じて働きかけていく。
- ・ 市民に露出度の高い広報を行えていないこと
 - ⇒ 次年度は、様々な手法を使った効果的な広報を検討
- ・ 推進月間をPRするようなメインイベントを開催できていないこと
 - ⇒ 次年度は、親子で参加できるような交流イベントの開催を検討
- ・ 取組の効果測定ができていないこと
 - ⇒ 次年度は、世論調査等を活用してWLBについての市民の認知度を把握